

●はじめに

12月となり、厳しい寒さがやってくる季節となりました。また、卒業論文提出も約1か月に迫っております。進捗状況はいかがでしょう。今回の説明会では、

①卒論執筆についての注意点・アドバイス

②口述試問についての注意点・アドバイス

の2点について私が経験したことを踏まえて、お話致します。

●卒論執筆についての注意点・アドバイス

・序論をしっかりと書こう！

序論とは、その論文が何について書かれているのか、また筆者がどのような問題意識をもって執筆しているのかが一目でわかる箇所になります。序論を具体的に書くことで読み手も論文の概要を把握しやすくなります。序論を書く際の注意点として5点程挙げます。

1:論文で明らかにしたいことを示す。(目的意識)

【例】本論文では、『選択本願念仏集』によって、より鮮明となった『安楽集』の「聖道」・「往生浄土」の二門について、直ちに対概念として出されたのではないとされる両者を、道綽が対概念として提示した意図を考察することを目的とする。

2:自分が論文で何を問題としているのかを簡潔に述べる。(問題意識)

【例】先行研究では、「聖道」・「往生浄土」の二門は道綽が自身の実体験に基づき初めて対概念として提示したと指摘されている。その実体験と対概念の関連性を示す道綽の意図が問題となる。

3:その問いを論文で取り上げる重要性を示す。(問いの重要性)

【例】この問いを検討することで、道綽の置かれた社会的背景を明らかにすることができる。また、聖浄二門への理解が一層深まることが期待できると考える。

4:どのような手法を用いて論を進めるか示す。(方法論の提示)

【例】本論文では、近年注目されている道綽の自力観をてがかりに考察を進めていく。

5:論の進め方を示す。

【例】第一章では~~~~。第二章では~~~~。第三章では~~~~。

以上の点に注意しつつ、序論を書くと読み手も論文の概要を掴みやすいと思います。

・自分の主張と参考文献の引用は明確に区別しよう！

参考文献を自分の主張のように用いることは**剽窃**に該当します。参考文献を引用するときは、「○○○○」や、二字下げを施して自分の主張と引用を区別しましょう。合わせて、引用には必ず**脚注**を付しましょう。

・卒論が完成したら、一旦印刷して見直しをしよう！

卒論が完成したら、一旦印刷して実際に読んでみましょう。脚注抜けや誤字脱字が必ず

あると思います。友人同士で卒論を読み合ってみると良いかもしれません。

*卒論執筆にあたりなかなか集中力が続かない時もあるかと思いますが。そのような時は場所を変えてみるといいかもしれません。私の場合は家か大宮図書館、ほぼどちらかで執筆していました。カフェなどを利用してみるのもいいでしょう。周りの環境を変えてみると気分転換にもなり、より集中できるのではないかと思います。

●口述試問についての注意点・アドバイス

・正誤表の作成

論文提出の後、口述試問までに**正誤表**を作成する必要があります。正誤表とは論文で誤字脱字等がある場合に作成するもので、口述試問までに先生へ提出します。形式等については説明があると思いますので、説明をしっかりと聞いて形式に従って作成しましょう。

・遅刻に注意！

開始時間前には教室の前で待機しておきましょう。また、試問当日は正装(スーツ)で臨みましょう。

・質問について

自分が卒業論文の内容を理解しているか等を主に問われると思います。例えば、「語句の意味」や「『註釈版』もしくは『聖典全書』のどこに書いてあるのか」等様々です。場合によっては要約を答える必要があるかもしれません。多方面からの質問を予想しつつ、事前にノートやパソコンに答えをまとめておくと良いと思います。

●おわりに

以上、①卒論執筆についての注意点・アドバイス、②口述試問についての注意点・アドバイスについてお話致しました。卒業論文は大学での学びの集大成です。良い卒業論文が提出できることを願っております。

第2回卒業論文説明会 体験談②

2024年12月5日(木)

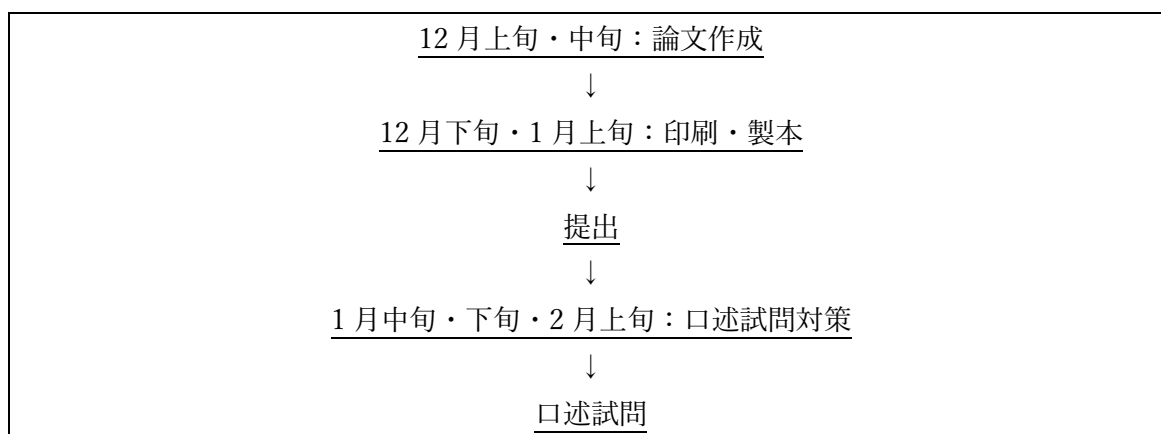
○はじめに

12月になり、卒業論文の提出まで残り一ヶ月となりました。急に寒くなりましたが、皆様、体調などは大丈夫でしょうか。人によって進捗の具合はそれぞれだと思います。追い込み方は自由ですが、楽しい年末年始を過ごせるように頑張りましょう！

今回、私からは卒業論文作成・提出、口述試問の流れについてご説明させていただきます。

○作成・提出、口述試問までの流れ

流れは、卒業論文作成→印刷・製本→提出→口述試問対策→口述試問のような流れになります。



【12月上旬・中旬：論文作成】

・指導教員の先生に提出して意見・アドバイスをもらいましょう。一度出して見ていただいて終わりではなく、意見・アドバイスをもとに修正を加えて、より磨きをかけて下さい。→ここで内容など手を抜くと口述試問のとき、より大変な思いをします。曖昧な内容は質問された時に答えられなくなります。

・指導教員の先生方もたくさんの生徒を指導されますので、忙しくなってきます。修正したものを再度提出しても返却に時間がかかる場合もあります。そのため、何事も早めに行動し、年末にバタバタすることがないようにしましょう。

→作成中にインフルエンザなどにかかっても、提出日には提出しないといけないため言い訳できないです…。

→実際、私は12月末までに完成させたかったのですが、指導教員の先生からの返信の順番待ちなどで、なかなか思った通りにはいかなかったです。

【12月下旬・1月上旬：印刷・製本】

・提出日の前日・当日は大学のコピー機、複合機は混雑するので余裕をもって印刷して下さい。卒業論文の完成が提出ギリギリになってしまいそうな人は、あらかじめ、学校のコピー機が使えなかった時のためにコンビニのコピー機などコピーができる場所を探しておきましょう！

→内容ができていても、製本ができていなければ提出できません。

→私は実家暮らしだったので、実家で印刷し製本して提出しました。幸い不備もなく無事受理してもらいましたが、中には製本ができていても、書式ミスで刷り直す必要があった子もいたので気をつけてください。その際にパソコンも使うことにもなると思うので忘れずに持っていきましょう。図書館や東麓のコピー機は本当に混むので気をつけて下さい。皆様が知っているコピー機は大体混みます。

※印刷前に誤字脱字チェックは必ずしましょう。手を抜くと口述試問に向けて作る正誤表の量が増えて大変になります。私は、絶対に大丈夫だと思っていたのですが、まさかのお聖教の言葉に誤字脱字がありました。ゼミ仲間と互いに見せ合うなど、第三者の方に見てもらおうと見つけやすかったです。

【提出】

・提出期間は2日間です。本人が直接提出することになるため、体調管理は十分に行いましょう。年末年始に遊びたいと思いますが、卒業できないことの方が遊ばなかったことより後悔すると思うのでほどほどにしましょう。

・何か特別な理由がない限り、できるだけ初日に提出して下さい。不備があった場合は卒業論文を受理してもらえないです。どれだけ準備をしてもミスは起こるものです。初日に提出しに行くことができれば余裕をもって対応することができます。

※製本した3部のうち2部を提出するので注意！（自分用・主審の先生用・副審の先生用）

【1月中旬・下旬・2月上旬：口述試問対策】

・提出したら終わりではありません。遊びたくなる時期になりますが、卒業論文に目を通して確認し、正誤表を作成しましょう。

・想定される問答を作って、口述試問の予行練習をしましょう。自分用の卒業論文には、何でも書き込んで対策しましょう。私は、緊張しすぎて自分で書いた卒業論文の内容がわからなくなった場面があったので、些細なことでももっと書き込めばよかったと思いました。

〈口述試問は、提出した卒業論文を認めてもらう大切な試験です。嫌がらずに頑張りましょう。〉

【口述試問当日】

・服装はスーツで行くことが望ましいです。廊下で待つため防寒対策はしておきましょう。

※筆記用具・自分用の卒業論文・聖典忘れずに！

・ここまで頑張ってこれたら大丈夫です。時間に遅れないように落ち着いて臨みましょう。

○さいごに

いろいろな方から言われていると思いますが、最後の踏ん張りどころです。いつ体調が悪くなるのかもわかりませんし、自分自身が思っている通りの流れはなかなか難しく思い通りにならないことの方が多いと思います。しかし、これが大学生生活の最後です。大変なことではありますが、辛いことも楽しんで、自分自身の人生の記憶に残る・思い出の期間だと思って頑張って下さい。